



1月「あゆみの森こども園」たより

令和3年12月24日

浜北区寺島 2889-1
TEL 053-585-2345
FAX 053-585-2344

寒さが厳しくなってきました。冷たい風に鼻を赤らめながらも、元気に遊ぶ子どもたちの姿にたくましさを感じているこの頃です。来年は、どんな楽しいことを見つけられるでしょう。子供たちのたくさんの笑顔と頑張りを職員一同、支えていきたいと思ひます。

本年もたくさんのご協力をありがとうございました。来年もよろしくお願ひいたします。

日	曜日	行事予定	お知らせ・お願ひ
1	土	元旦	○6日 避難訓練
2	日	年始休暇	地震から火災が発生したと想定して避難訓練を行います。煙を吸わないようにハンカチを口に当てます。幼児は、毎日持っているようにしましょう。確認をお願いします。
3	月	年始休暇	○11日 鏡開き
4	火		年末についたお餅を木槌で割ってお汁粉にして頂きます。
5	水		○12日13日 身体測定について
6	木	避難訓練	記録を持ち帰りますので、お子さんの成長をご確認ください。
7	金		○19日 誕生会
8	土		職員によるお楽しみのおし物をを行います。お子さんからのお話を楽しみにしてください。
9	日		○21日 未就学児防煙教室・就学前交通教室
10	月	成人の日	対象：そら組・そら組保護者
11	火	鏡開き るくみー販売開始	時間：13:00～13:20 防煙教室
12	水	身体測定(幼児)	13:45～14:45 交通教室(歩行訓練)
13	木	身体測定(乳児)	持ち物：傘(19日に園に持ってきてください)
14	金		○25日 家庭教育学級講座
15	土		対象：全園児保護者
16	日		演目：パパママセンスアップ～自立を促す関わりとこつ～
17	月		子育ての参考となるお話やワークを行います。ぜひ、ご参加ください。
18	火		○28日 こども園幼稚園小学校連絡会
19	水	誕生会	近隣の小学校や幼稚園の先生が年長児の様子を見に来てくださり、小学校への接続、連絡を行います。
20	木		
21	金	防煙教室 就学前交通教室	
22	土		<おしらせ>
23	日		・次年度の用品販売(全園児対象)を令和4年3月8日(火)に行います。コロナ禍のため、3回に分けて行います。
24	月		時間内に購入をお願いします。
25	火	家庭教育学級講座	15:00～15:50 てんし組・ひかり組
26	水	親子ひろば	16:00～16:50 わかば組・ゆめ組
27	木	職員会議	17:00～17:50 にじ組・そら組
28	金	こ幼小	*1月14日(金)に用品注文書を配布します。
29	土		新年度用品は、園での取り扱いはありません。直接業者から購入していただきます。当日、都合がつかない場合は、業者まで行っていただきます。
30	日		宜しくお願ひ致します。
31	月		

*裏面に2月の行事予定を載せてあります。

裏面に続く

<2月の行事予定>

3日(木)	豆まき会
4日(金)	避難訓練
7日(月)	身体測定(乳児)
8日(火)	身体測定(幼児)
9日(水)	生活発表会園内リハーサル(全園児)
15日(火)	生活発表会なゆたリハーサル(3歳以上児)
18日(金)	生活発表会準備(16:00から生活発表会準備を行います。なるべく早いお迎えにご協力をお願いいたします)
19日(土)	生活発表会(なゆたホール)
22日(火)	ジャガイモ植え
23日(水)	誕生会
25日(木)	卒園旅行
26日(金)	親子ひろば



お目を拝借

12月4日(土)に 山崎美代子先生による講演会がありました。演題は、「アンガーマネージメント～上手に怒ろう！上手に伝えよう～」でした。参加された保護者の方から、「これからの生活や子育てに役に立つお話が聞けて良かった。」「先生のお話を聞いて、改めて子育ての大切さを感じた。」など講演会に参加してよかったという感想をたくさんいただきました。少しでも紹介させていただきます。アンガーマネージメントとは、言葉の通り、怒ることをマネージメントする(コントロールする)ことです。怒るという感情は、人間の基本的な感情なので、怒ってはいけないということではありません。ただ、上手に怒らなくてはマイナスの面があるということです。問題となる怒りには、4つあります。①強度が強い怒り②持続性がある怒り③頻度が高い怒り④攻撃性がある怒りは、制御が必要となります。怒りは、理想と現実のギャップによって生まれます。怒りが生まれたとき、理性をもって怒れるようにするためには、6秒間、怒りを表現するまでに待つのが良いとされています。この反射的に言わないことがとても大切です。そして、怒りを上手に伝えるには、①私を主語にして言う②自分の気持ちを伝える(I feel～)③目的を的確に伝える(I want～)を考えながら伝えるとよいそうです。最後に先生から、詩のプレゼントをいただきました。

『愛の言葉』
愛の言葉を話そう 愛の言葉を口にしよう そんなに難しく考えないで
話す言葉の形を 「まあるく」「ふんわり」ととのえて そこに 「あたたかさ」と「やわらかさ」と
ほんの少し 「甘さ」をのせて音にする ただそれだけで 相手の心にやさしく響く
どんな言葉をつかうかよりも どんな気持ちをのせるかが大切 その気持ちが相手の心に届くのです
そして ひとつお願ひがあります おとうさん、おかあさん、どうか わが子の名に
とっておきの愛をのせて声にしてほしいのです 名前は生まれて初めてのプレゼント
その大切な名を宝物のように 大切な想いがつまったその言葉に とっておきの 「あたたかさ」と
「やわらかさ」と「甘さ」をのせて 愛の言葉で呼ばれたこどもは 愛の言葉で誰かを呼ぶでしょう
愛の言葉は響きとなり やがて旋律となり そして 世界でいちばんやさしい 音楽になる
私たちの言葉ひとつひとつが 愛でありますように